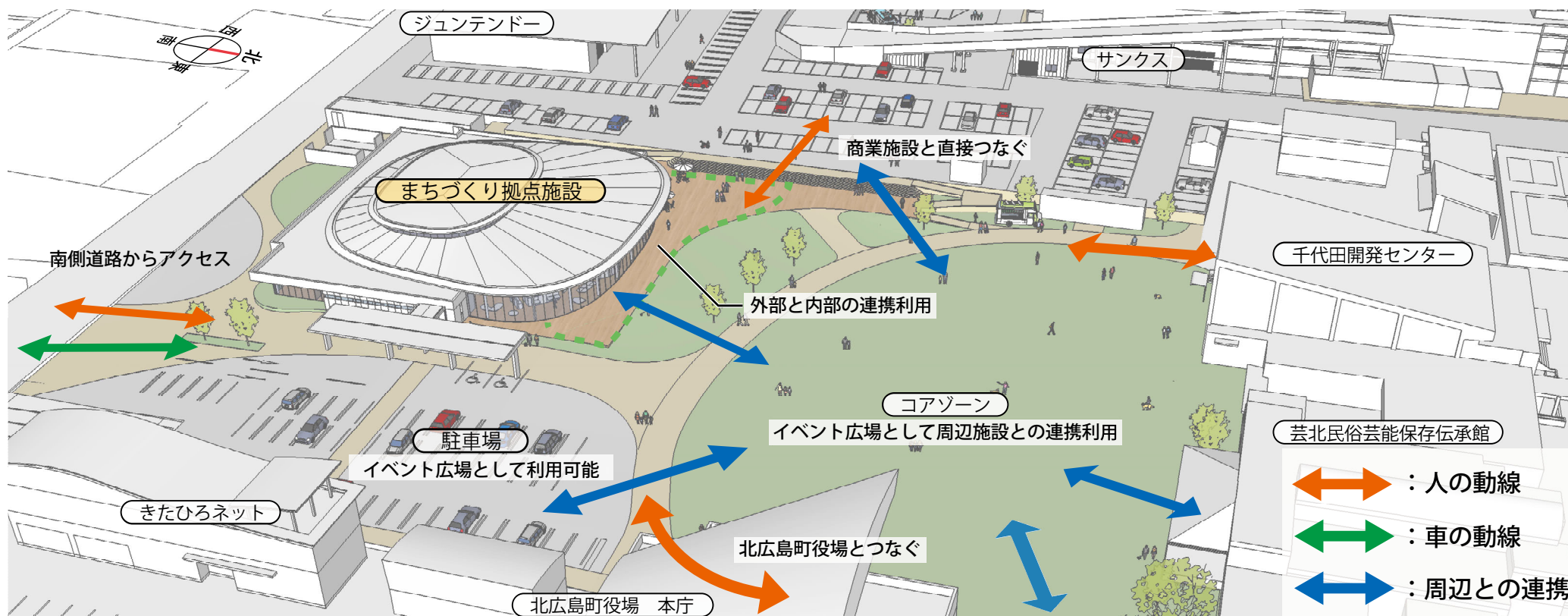


# 広場の大きなかさ

～住民が集う環となり、活動に出会う～



## 1. 設計コンセプト

広場の大きなかさ ～住民が集う環となり、活動に出会う～

1. 広場の中の『大きなかさ』のような建築をつくります。
2. 広場と一体となった『大きなかさ』は誰もが気軽に利用できます。
3. 『大きなかさ』の下は、憩い・学習・活動が共存する交流空間となります。

## 2. 全体配置計画

- 周辺施設と連携可能な、誰もが使いやすい園路計画としています。利用者の安全を考慮して、歩車分離を明確にした駐車場配置とします。
- 駐車場は、イベント時は広場と一体的な利用が可能です。
- 建物周囲のオープンスペース(デッキ)は、屋内外が一体的に使えるようフラットにつないでいます。
- 災害時を考慮し、建物と周囲地盤を高く計画しています。
- サンクス・ジュンデンドー(西側)とまちづくり拠点施設・コアゾーンを階段広場をつなぎ、相互の行き来がしやすい計画とします。日常利用以外に共同イベント等にも対応できます。
- まちづくり拠点施設は、コアゾーンに面してガラス張りの開放的な計画とし、屋内外の連携利用が可能な計画とします。

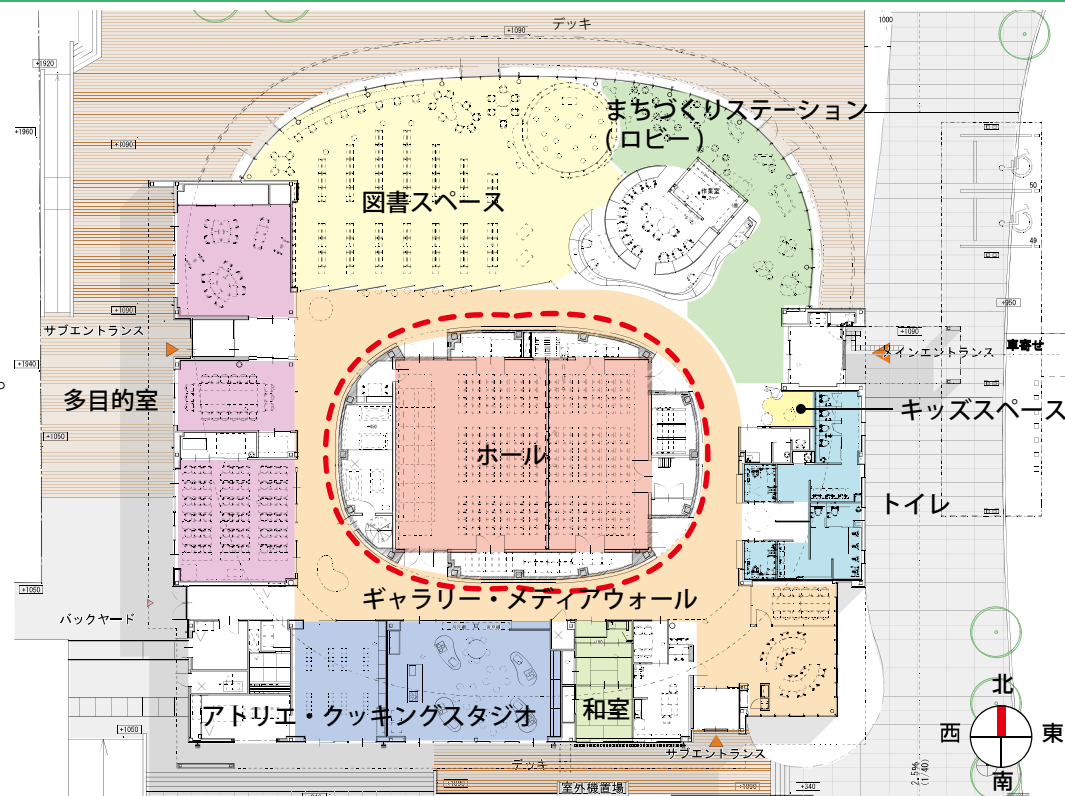




内観イメージ  
※画像は計画中のイメージのため、今後変更の可能性があります。

### 3. 内部の部屋構成

- 図書スペース
  - ・廊下(ギャラリー)と空間が一体となっています。
  - ・コアゾーンに向けて大開口を設けた開放的なスペースです。
  - ・閲覧スペースや読み聞かせコーナーなど、様々な年齢層が同時利用できます。
  - ・図書管理システムにより書籍の検索が容易となります。
- 多目的室
  - ・会議やサークル活動の利用を想定した部屋です。
  - ・外部デッキへの出入口を設け、屋外との一体的な利用が可能です。
  - ・3室それぞれ異なる部屋の大きさとし、利用人数によって使い分けが可能です。
- ホール
  - ・セミナーやダンスなどのサークル活動の利用を想定した部屋です。
  - ・建物中央に配置された約200席配置可能なホールです。
  - ・利用規模に応じて2室に分けられる間仕切を設置しています。
- アトリエ・ッキングスタジオ
  - ・屋外デッキとの一体的な利用により様々な使い方に対応しています。
  - ・陶芸やクラフト、絵画など創作系の活動に利用できるアトリエ。
  - ・ッキングスタジオは一部を非常時利用もできる整備としています。



- まちづくりステーション(ロビー)
  - ・談話やミーティング、作業などだれでも自由に利用できるスペースです。
  - ・まちづくり活動をより活性化する多目的なスペースです。
- キッズスペース
  - ・東側エントランス横、授乳室に隣接した位置に配置しています。
  - ・見守りできるテーブル席を組み込んだ親子で使える遊具スペースです。
- トイレ
  - ・車いす利用者のほか、親子の同伴利用を想定した多目的トイレ(2箇所)。
  - ・男女とも親子同伴で使用できる広めの個室を設けています。
  - ・ホールの最大利用者数を想定したトイレの仕様としています。
  - ・パウダーコーナーを設けるなど、使い方に配慮した計画としています。
- ギャラリー・メディアウォール
  - ・市民ギャラリーとして活動の成果を展示することが可能です。
  - ・回遊動線に沿って設けたメディアウォールは、催し事やまちづくり活動、サークル活動、周辺施設などの情報を効果的に発信します。
- 和室
  - ・2間の和室を設け、利用規模に応じて部屋の大きさを変更できます。